

<対策のポイント>

激甚な山地災害からの復旧とともに、地球温暖化の進行に伴う短時間豪雨の発生回数や総降水量が増加傾向にある中、山地災害の発生リスクの増大を踏まえ、**山地災害危険地区における災害リスクの把握や治山施設の設置等のハード・ソフト一体的な対策、流木対策等の治山対策を強化します。**

<事業目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加（約56.2千集落〔平成30年度〕→約58.6千集落〔令和5年度〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 災害リスクの高い地域における総合的な山地災害対策の推進

1,126 (939) 百万円

豪雨等に見舞われた地域を対象として、崩壊危険箇所の把握に効果的なレーザ計測等を取り入れるとともに、警戒避難体制整備、治山施設の設置等のハード・ソフト対策を一体的に行う取組を推進します。

○災害リスクの高い地域における総合的な山地災害対策の推進

豪雨等により災害発生リスクが高まった地域において、地域全体の激甚な山地災害発生を未然防止



ドローンレーザによる崩壊危険箇所の把握

土石流センサーの設置

治山施設の設置

2. 山地尾根部における崩壊予防等予防治山対策の推進

4,700 (3,077) 百万円

山地尾根部の崩壊による甚大な災害が発生している中、被害を未然防止するための崩壊予測・発生源対策を推進します。

○山地尾根部における崩壊予防等予防治山対策の推進



山地尾根部

山地災害の発生予測

尾根部からの大規模崩壊発生を踏まえ、山地災害の発生予測や発生源対策の取組を推進

崩壊の発生を未然に抑制する対策の実施

3. 流木災害の未然防止に向けた保安林整備の推進

2,765 (2,526) 百万円

豪雨による流木発生リスクの増大を踏まえ、被害の未然防止のため、保安林整備と一体的に行う溪流沿いの危険木除去を推進します。

○流木災害の未然防止に向けた保安林整備の推進

短時間豪雨等に伴う流量の増大を踏まえ、保安林整備と一体的に行う溪流沿いの危険木除去を推進



豪雨により流木化するおそれのある危険木

危険木除去

4. 効率的な復旧対策のためのICT施工等新技術導入の推進

27,726 (22,022) 百万円

災害の多発化・激甚化に伴い難工事が増加する中、施工の効率化のためのICTを活用したリモート施工など新技術の導入を推進します。

○効率的な復旧対策のためのICT施工等新技術導入の推進



急傾斜の大規模崩壊地

事業者の省力化や非接触化等に資するレーザスキャナによる施工箇所の現況調査

施工条件が厳しい急傾斜地等での復旧対策として、ICT施工等の新技術導入を推進

運搬性や施工性に優れた施工方法の導入

(関連事業)

ため池等への被害抑制のための治山対策推進

農山漁村地域整備交付金の取組として、農地防災の取組と連携したため池・農地等の上流部における治山対策を推進します。

<事業の流れ>



※国有林や民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】 林野庁治山課 (03-6744-2308)